

平成 21 年 11 月 30 日

維持期リハモデル事業研修会 報告

平成 21 年度維持期リハビリテーションモデル事業による研修会を下記のとおり開催しましたので、下記の通り、ご報告させていただきます。

1. 日 時 平成 21 年 11 月 28 日（土）14：00～16：00
2. 場 所 ナーシングヒルなでしこ 津
3. 参加者 地域で業務されている訪問介護員、ケアマネジャー、訪問看護師など 21 名。
4. 講 師 三重県言語聴覚士会 会長
（榊原温泉病院 言語聴覚士 野中 千恵子
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム
（摂食・嚥下障害看護認定看護師） 竹腰 加奈子
司 会 三重県訪問看護ステーション連絡協議会
（芹の里訪問看護ステーション） 中山 康子

5. 内 容

- (1) 事務局より、研修会開催にあたりご協力ならびに会場提供頂いた三重県看護協会、三重県訪問看護ステーション連絡協議会への感謝と本事業および研修会の主旨をご説明させて頂きました。
- (2) 参加された方々より日々の介護、看護業務での困っていることや疑問に感じていることを出して頂き、講師よりアドバイスや意見交換が行われました。



<実際の相談内容では・・・>

- ①ALS 疾患をお持ちの方の食事介助についての日々の悩み事、対応方法など。
- ②「食べる」こととは、どんな体の動き？
- ③飲み込みの角度は？
- ④口腔を清潔に保つ方法は？ など。

- (3) 実技（体験）指導では、嚥下体操、「飲み込む」ことについての身体機能の動き、介助の際の角度などゼリーを飲み込む体験を実際に行って学ぶ機会となった。また、とろみ剤の付け方、実際のとろみ具合などを見て学んだ。



みなさん、熱心に体験され、その場でもご質問をお受けして、意見交換できました。

記録：事務局

七栗サナトリウム

ケースワーカー 下村